

利用できる制度一覧（身体障害者手帳1級、2級）

〔令和6年10月1日版〕 裏面あり

制度項目	制度内容	対象条件及び該当等級	手続きする場所	必要なもの	注意事項	
<input type="checkbox"/> 重度障害者医療費助成制度	<p>※詳細は障がい福祉ガイドブックを参照</p> <p>保険適用範囲内の医療費を助成 (診察代・薬代・検査代も含む) ※入院中の食費・部屋代・雑費代は助成対象外</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1級又は2級所持者 身体障害者手帳3級かつ知能指数50以下 	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1446)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 健康保険証または資格確認書 <input type="checkbox"/> 個人番号カードまたは通知カード <input type="checkbox"/> 印鑑	<p>※初回申請の方は、手帳交付日から受給者証が発行されるまでの医療費の領収書により償還払いができません。</p> <p>※対象となった方には、手続き後、毎年6月末までに新しい受給者証が発行されます（自動更新）。</p>	
<input type="checkbox"/> 住宅設備改良に対する助成	<p>浴室、便所、玄関、台所、廊下などを改造する費用を助成 (助成限度額80万円) ※助成の可否については、事前に相談 ※障害の内容に応じた既存住宅設備の改良が対象。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1級又は2級所持者 身体障害者手帳3級かつ知能指数50以下 	障がい福祉課 窓口 担当：障がい者支援係 (33-1468)	<p>I 工事前</p> <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 認印 <input type="checkbox"/> 工事見積書 (社印・代表者印の押印・代表者名の記載必須) <input type="checkbox"/> 家主の承諾書(借家の場合のみ) <input type="checkbox"/> 預金通帳(本人名義) <input type="checkbox"/> 工事の見取り図 <input type="checkbox"/> 工事前の写真 <input type="checkbox"/> 世帯全員の課税・非課税証明書 (今年の1月1日以降に小田原市に転入された方)	<p>II 工事後</p> <input type="checkbox"/> 請求書 <input type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 工事後の写真	<p>※障がい者の属する世帯について1回限り。</p> <p>※介護保険から給付が受けられる場合は、介護保険制度が優先。</p>
<input type="checkbox"/> 自動車改造費の助成	自動車の改造に直接要した費用を助成 (助成限度額10万円)	<p>下記①～③条件全てに該当する方</p> <p>①障がい者本人が所有し、運転する自動車の一部を改造することにより社会参加が見込まれる方</p> <p>②身体障害者手帳 肢体不自由1～3級</p> <p>③市町村民税非課税</p>	障がい福祉課 窓口 担当：障がい者支援係 (33-1468)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 認印 <input type="checkbox"/> 運転免許証(改造要件の記載が必要) <input type="checkbox"/> 車検証 <input type="checkbox"/> 預金通帳(本人名義) <input type="checkbox"/> 改造にかかる費用の見積書 <input type="checkbox"/> 自動車改造に係る請求明細書及び領収書 <input type="checkbox"/> 非課税証明書(今年の1月1日以降に小田原市に転入された方)	<p>※1車両につき1回を限度とします。</p> <p>※再度申請する場合は、前回申請から5年を経過していることとします。</p>	
<input type="checkbox"/> 所得税の障害者控除	特別障害者控除(40万円控除) ※同居の場合35万円加算	身体障害者手帳1級又は2級所持者	小田原税務署 (35-4511)		<p>障害者控除は、手帳交付された年の年末調整や、公的年金等の受給者の扶養親族等報告書またはご自身で申告をする際に控除申請を行ってください。</p> <p>※手帳の申請から交付までに年をまたぐ場合は、9番市民税課にご相談ください。</p>	
<input type="checkbox"/> 住民税の障害者控除	特別障害者控除(30万円控除) ※同居の場合23万円加算	身体障害者手帳1級又は2級所持者	市民税課 (33-1351)			
<input type="checkbox"/> 自動車・軽自動車税の減免	自動車取得税、自動車税(県税) 減免	身体障害者該当等級はガイドブック参照	小田原県税事務所 (合同庁舎2階 32-8000)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> 車検証	<p>※障がい者1人につき1台のみ。営業車は対象外。</p> <p>※軽自動車税の減免を受けた方は、福祉タクシー券の交付を受けることができません。</p> <p>※軽自動車の申請期間は、納税通知書送付後(5月初旬)～納期限(5月末)。</p>	
	軽自動車税(市税) 減免	身体障害者該当等級はガイドブック参照	市税総務課 (33-1343)	※その他状況によりご用意いただくものがありますので、詳細については、県税事務所にお問い合わせください。(自動車税)		
<input type="checkbox"/> 有料道路通行料の割引	有料道路通行料5割引	<p>身体障害者手帳所持者 (1種、2種で対象となる自動車の範囲が異なる)</p> <p>1種⇒本人が運転、あるいは介護者が運転し本人が同乗するとき</p> <p>2種⇒本人が自動車を運転するとき</p>	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1446)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 車検証(A5版の電子車検証の場合、同時発行の「自動車検査証記録事項」も必要) <input type="checkbox"/> 運転免許証(障害者本人が運転する場合のみ) <input type="checkbox"/> 割賦契約書又はリース契約書(ローン又は長期リースの場合のみ)	<p>1種：本人が運転、あるいは介護者が運転し、障がい者が同乗する自動車等で障がい者本人、配偶者、子、孫、兄弟、姉妹、同居の親族等が所有するもの</p> <p>2種：身体障がい者本人が運転する自動車等で障がい者本人、配偶者、子、孫、兄弟、姉妹、同居の親族等が所有するもの</p> <p>※最長2年更新で、期限満了の2か月前から更新の手続きが可能です。</p> <p>※ローンを完済されている場合は、車検証の所有者の名義変更を行ってから手続きをしてください。</p>	
<input type="checkbox"/> JR、公営・民営鉄道、地下鉄運賃の割引	乗車運賃5割引 詳細はガイドブック参照	<p>身体障害者手帳所持者 (1種、2種で対象となる範囲が異なる)</p> <p>詳細はガイドブック参照</p> <p>1種⇒本人のみ、あるいは介護者が同伴して乗車するとき</p> <p>2種⇒本人のみ乗車するとき</p>	各交通機関窓口	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳	<p>※障害者手帳提示のうえ、駅窓口または券売機で小児用普通乗車券を購入し、改札係員に手帳を提示し利用してください。</p> <p>※ICカード利用時は、自動改札機にタッチして入場し、出場駅では改札窓口にて改札係員に障害者手帳とICカードを提示し利用してください。</p>	
	定期5割引	<p>1種⇒本人が12歳未満(小児)の場合の介護者 本人が12歳以上の場合、本人・介護者とも</p> <p>2種⇒本人が12歳未満(小児)の場合の介護者</p>				
<input type="checkbox"/> 福祉タクシー利用券	初乗り運賃相当額等を助成 (福祉有償運送事業者を利用した場合は上限500円を助成)	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1級又は2級(上肢障害・聴覚障害の2級を除く) 身体障害者手帳3級(聴覚障害は2級)以上かつ療育手帳B1所持者 特定疾患医療受給者証・特定医療費(指定難病)医療受給者証所持者 小児慢性特定疾病医療受給者証所持者 	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1461)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳/療育手帳 特定疾患医療受給者証/特定医療費(指定難病)医療受給者証/ 小児特定疾患医療給付決定通知書	<p>※軽自動車税の減免を受けた方は、福祉タクシー券の交付を受けることができません。</p> <p>※施設への入所・病院などへ入院をしている方は対象外です。</p> <p>※障がい福祉課と高齢介護課で両方の交付要件を満たしている方は障がい福祉課で交付します。</p> <p>※すでに高齢福祉課でタクシー券の交付を受けている方は、そのまま 在宅高齢者等福祉タクシー利用券を利用してください。</p> <p>ただし、腎臓機能障害1級の方は、追加分を障がい福祉課にて交付します。</p> <p>※県内のタクシー会社では、身体障害者手帳を提示すると、料金が1割引になる会社もあります。 (割引適用については各会社にお問い合わせください。)</p>	
		・介護保険要介護3～5と認定され、在宅で生活している方	高齢介護課(33-1841)	※高齢介護課にご確認ください。		

利用できる制度一覧（身体障害者手帳1級、2級）

〔令和6年10月1日版〕 裏面あり

制度項目	制度内容	対象条件及び該当等級	手続きする場所	必要なもの	注意事項
<input type="checkbox"/> バス運賃の割引	※詳細は障がい福祉ガイドブックを参照 乗車運賃5割引 定期(12歳以上のみ)3割引 ※希望者には「運賃割引者証(バス券)」を発行。1年ごとに更新手続きが必要。 (1種の方は赤線2本、2種の方は赤線1本)	身体障害者手帳所持者 (1種、2種で対象となる範囲が異なる) 1種⇒本人のみ、あるいは介護者が同伴して乗車するとき 2種⇒本人のみ乗車するとき	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1505)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳	※手帳の提示のみでも割引になります。手帳又は「運賃割引者証」を提示の上、割引後の運賃を支払います。提示方法は各バス会社に確認してください。 ※12歳未満は介護付割引証(赤線2本)を発行します。 (12歳未満の方は2種でも同乗する介護者を割引。)
<input type="checkbox"/> NHK放送受信料の減免	全額免除 半額免除	・身体障害者手帳をお持ちの方のいる世帯で、世帯員全員が市民税非課税の場合 世帯主が次の障害の程度で、受信契約者である場合 ①視覚障がい者(1～6級) ②聴覚障がい者(1～6級) ③肢体不自由(1・2級) ④内部障がい者(1・2級)	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1446)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 認印	※NHK視聴者コールセンター 0570-077-077
<input type="checkbox"/> 水道料金の減免		橘地区、国府津の一部の地区の県営水道利用者で、身体障害者手帳1、2級他(ガイドブック参照)	県企業庁水道局 (0463-73-6122)		
<input type="checkbox"/> 携帯電話基本使用料の割引	基本使用料や通信料等割引	身体障害者手帳所持者 (契約者が障がい者本人の場合に限る)	各店舗		※各社問い合わせ先 NTTドコモ 0120-800-000、auお客様センター 0077-7-111 ソフトバンク 0088-240-157
<input type="checkbox"/> レンタカー使用料の割引	各社にお問い合わせください	身体障害者手帳所持者	ご利用のレンタカー各社		※事前に各社へお問い合わせください。
<input type="checkbox"/> 公共・文化施設の利用料等の割引	各施設にお問い合わせください	身体障害者手帳所持者	各施設		※事前に各施設へお問い合わせください。
<input type="checkbox"/> 避難行動要支援者所在マップ	災害時に救出及び避難誘導をするため、要支援者を所在確認するためのマップに掲載	ひとり暮らしの高齢者や障がい者等	福祉政策課 担当：福祉政策係 (33-1863)		
<input type="checkbox"/> 補装具の交付・修理について	基準となる額までの1割が自己負担(市民税非課税世帯は無料) 障がいの種類によって交付できる補装具が異なるので要相談	身体障害者手帳所持者 ※一定以上の所得がある世帯は助成対象外 ※介護保険から給付が受けられる場合は介護保険制度が優先 ※申請は製作・修理前	障がい福祉課 窓口 担当：障がい者支援係 (33-1468)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 見積書 <input type="checkbox"/> 医師の意見書(補装具の種類に応じて) <input type="checkbox"/> 公的年金等の金額を確認できる書類(市民税非課税の方のみ) <input type="checkbox"/> 世帯全員の課税・非課税証明書(今年の1月1日以降に小田原市に転入された方) <input type="checkbox"/> 個人番号カードまたは通知カード	※一定以上の所得がある世帯は助成対象外 ※介護保険から給付が受けられる場合は介護保険制度が優先 ※申請は製作・修理前に行ってください。(事後は対象外。) ※労働災害事故による障がいの場合は労働基準監督署へお問い合わせ
<input type="checkbox"/> 日常生活用具費の給付	基準となる額までの1割が自己負担(市民税非課税世帯は無料)	品目・対象者はガイドブック巻末の別表参照(P70～) ※一定以上の所得がある世帯は助成対象外 ※介護保険から給付が受けられる場合は介護保険制度が優先 ※申請は購入前	障がい福祉課 窓口 担当：障がい者支援係 (33-1468)	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 見積書 <input type="checkbox"/> 購入希望用具のカタログ(コピー可。スタマ以外は基本的に提出) <input type="checkbox"/> 公的年金等の金額を確認できる書類(市民税非課税の方のみ) <input type="checkbox"/> 世帯全員の課税・非課税証明書(今年の1月1日以降に小田原市に転入された方)	※一定以上の所得がある世帯は助成対象外 ※18歳未満を対象とした給付には、所得制限はありません。 ※介護保険から給付が受けられる場合は介護保険制度が優先 ※申請は購入前(購入後の申請は対象外)
<input type="checkbox"/> 駐車禁止の規制対象からの除外	①道路標識等で駐車禁止されている場所 ②パーキングメーター又はパーキングチケット設置区間	視覚障がい1～3級及び4級の1 聴覚障がい2、3級/平衡機能障がい3級 上肢障がい1級、2級の1、2級の2 下肢障がい1～4級、体幹障がい1～3級、内部障がい1～3級 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい1～3級	小田原警察署交通課 (32-0110)	<input type="checkbox"/> 障害者手帳の写し(確認のため原本必要) <input type="checkbox"/> 障がい者本人の住民票	※代理申請される場合は、他に書類を求められることがあるため、事前に電話で確認が必要。
<input type="checkbox"/> 各種手当 ①特別障害者手当 ②神奈川県在宅重度障害者等手当	日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅重度障害者に支給されます。	※手帳の等級とは異なる基準によって認定され、手当によって対象条件が異なりますので、詳細はガイドブックにてご確認ください。	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1446)	※詳細や提出書類はガイドブックを確認の上、ご不明な点があれば障がい福祉課の窓口でご相談ください。	
<input type="checkbox"/> 各種手当(20歳未満) ①障害児福祉手当 ②特別児童扶養手当 ③小田原市心身障害児福祉手当 ④神奈川県在宅重度障害児福祉手当	①④は在宅の重度障害児、③④は対象児童を養育しており所定の条件を満たす方に手当が支給されます。	※手帳の等級とは異なる基準によって認定され、手当によって対象条件が異なりますので、詳細はガイドブックにてご確認ください。	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1446)	※詳細や提出書類はガイドブックを確認の上、ご不明な点があれば障がい福祉課の窓口でご相談ください。	
<input type="checkbox"/> 神奈川県心身障害者扶養共済制度(しょうがい共済)	障がいのある方を扶養している保護者が一定の掛金を納めることで、保護者に万が一のことがあったとき、障がいのある方に終身一定額の年金を支給	将来独立して自活することが困難な身体障がい者(1級から3級)などを扶養している65歳未満の方で所定の要件を満たしている方。	障がい福祉課 窓口 担当：障がい福祉係 (33-1446)	※ガイドブックを確認の上、ご不明な点があれば障がい福祉課の窓口でご相談ください。	※場合により必要書類がござりますので、事前に担当の係までお問い合わせください。

※対象について、福祉タクシー利用券以外は療育手帳・精神保健福祉手帳・指定難病の記載が省略となっています。必要な方はガイドブックでご確認ください。